

平成 20 年 12 月 吉日

各位様へ

情報システム関連部署の皆様

「第 5 回自治行政情報懇話会」ご案内

(趣旨)

G I S を取り巻く国の動向は、昨年 5 月に“地理空間情報活用推進基本法（8 月施行）”が公布され、本年 3 月 6 日には“統合型 G I S 推進指針”の発表、本年 4 月 1 5 日には“地理空間情報活用推進計画”が閣議決定されるなど、G I S を活用した新しい業務フレームの構築が求められてきています。しかしながら、行政サイドの各分野では、指針や基本計画の具体化のためには、自治体内部における G I S の活用推進の調整（指針で示されている共用空間データや個別空間データの整備、活用、連携に関する部分）、自治体間の連携、地域コミュニティの活性化や住民参加のツールとして利用、地域の民間事業者との協働や連携など、各自治体において現実的な課題があるように考えます。

5 回目になります。自治行政における地理空間情報活用推進に係る課題共有と横断的な意見交換の場を提供し、各自治体の G I S の普及促進と自治体間の協働や連携にお手伝いできればとの思いから、自治体関係者のみの意見交換会を企画しご案内差し上げています。

今回は財団法人日本デジタル道路地図協会（略称 DRM 協会）の活動についてのご発表と皆様のご意見をお聴きしたくご参加していただきます。

現在、国を挙げて、安全安心、環境に優しい社会造りが取組まれている中で地図の役割が見直されています。ナビは今や 3 0 0 0 万台を超え、無くてはならないものとなっていますがその機能は、経路案内から走行支援にと高度化しつつあります。こうした社会状況の中での DRM 協会の取組みを紹介します。

(参考) DRM 協会とは <http://www.drm.jp/> 設立：1 9 8 8 年。所管：国土交通省道路局

目的：道路網及び道路地図に関するデジタル道路地図情報の調査研究を行うと共に、その標準化を推進し、道路及び道路交通の情報化に貢献し、国民生活の高度化、経済の活性化に資する。

■プログラム（司会：非営利活動法人 G I S 総合研究所 川添）

1：「地理空間情報活用推進と DRM 協会の取組み」15:00 ～15:40

財団法人 日本デジタル道路地図協会 谷口 公

休憩 1 0 分

2：意見交換会 15:50 ～17:00（まちづくりと道路地図利活用について意見交換）

■日時

平成 21 年 1 月 22 日（水）15:00～17:00（受付 14:30～）

■場所：大阪駅前第 2 ビル 4 階「大学コンソーシアム大阪」会議室 ルーム G

<http://www.consortium-osaka.gr.jp/room/floor-map.html>

---

参加をご希望の方は下記にメールまたは F A X でお申し込みください。

申し込み先連絡先：info@gissoken.org

G I S 総合研究所事務局：国司輝夫

<http://gissoken.org/>

電話：0 6 - 6 4 6 4 - 7 0 7 7

F A X：0 6 - 6 4 6 4 - 7 0 7 8

お申し込み（記入できる範囲で結構です）

参加代表のご芳名：

自治体（団体）名：

TEL：

E-mail アドレス：

今までの課題ご提供発表者（敬称略）

- ・「大阪市統合型GISの整備コンセプトについて」

大阪市計画調整局情報化施策担当 内布 茂充

- ・「地理空間情報活用推進基本法に関する国土地理院の取組み」

国土地理院近畿地方測量部地理空間情報管理官 浦部 ぼくろう

- ・「新産業・新サービスの創出および地域活性化について」

経済産業省商務情報政策局情報政策課情報プロジェクト室 東川 玲

- ・「地理空間情報活用推進活用に向けた三重県の取組み」

三重県政策部情報政策室 山口 成大

- ・「都市計画とGIS活用について」

富田林市役所 浅野和仁 羽曳野市役所 恵谷信和